

# 吸引

No.	技術項目	評価						
		入職時	3か月		6か月		1年	
		自己	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
1	患者に吸引することを説明できる							
2	手袋をつけ、吸引用カテーテルを用意できる							
3	吸引用カテーテルを接続管につなぐことができる							
4	吸引器の吸引圧を、吸引用カテーテルを折り曲げた状態で80~120mmHgに設定できる							
5	水を吸引し、吸引状態を確認できる							
6	患者に口を開けてもらい、口腔内を観察できる							
7	カテーテルは折り曲げて持ち、吸引圧をかけない状態で口腔または鼻腔に吸引用カテーテルを入れることができる							
8	折り曲げていたカテーテルを開放し、吸引圧をかけて吸引することができる							
9	一回の吸引が終了するごとに吸引用カテーテルを湿綿で拭きカテーテル外周に付着した痰を取り除くことができる							
10	水を吸引し吸引用カテーテル内の汚れを取り除くことができる							
11	SpO <sub>2</sub> 呼吸状態を見ながら痰の状態を聴診で確認し、必要な回数を繰り返し吸引することができる							
12	吸引カテーテルを接続管から外し、水の入ったボトルに入れることができる							
13	手袋を外した状態で吸引器の操作をoffにすることができる							
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								

## 注

評価に関しては○△×で

# インスリン

No.	技術項目	評価						
		入職時	3カ月		6か月		1年	
		自己	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
1	患者への説明ができる							
2	必要物品が準備できる							
3	手洗いができる							
4	インスリンの針接続部位をアルコール綿で拭き取ることができる							
5	インスリンと針の接続ができる							
6	インスリンの空打ちができる							
7	インスリンの名前単位の確認ができる							
8	インスリンの単位を合わせることができる							
9	穿刺部位をアルコール綿で拭くことができる							
10	穿刺部位に穿刺し、単位が0になるまでインスリンを押すことができる							
11	穿刺部から針を抜くことができる							
12	アルコール綿で穿刺部を軽く押さえることができる							
13	後片づけができる（リキャップしない）							
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								

注

評価に関しては○△×で

## 胃瘻からの注入・薬剤注入

No.	技術項目	評価						
		入職時	3カ月		6か月		1年	
		自己	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
1	必要物品が準備できる							
2	注入食が汚染されないよう清潔に取り扱いができる							
3	患者に目的、方法が説明できる							
4	経腸栄養バッグに指示された微温湯を加えることができる							
5	経腸栄養カテーテルを接続することができる							
6	ローラークレンメを止めることができる							
7	経腸栄養カテーテル内に注入食を満たすことができる							
8	頭部を30°以上挙上することができる							
9	蓋を開け、カテーテルを接続することができる							
10	クレンメをゆるめ、注入食の敵下数を確認することができる							
11	投与量がすべて終了したら、注入食のクレンメを止めることができる							
12	微温湯でカテーテル内の注入食をフラッシュすることができる							
13	投与後の患者の状態を観察することができる							
14	瘻孔の状態を観察することができる							
15	カテーテル型の胃瘻であれば、カテーテルを固定することができる							
16	使用物品を洗浄し、後片付けができる							
17	内服薬を溶かすことができる							
18	ディスポーザブルの注射器に吸い上げ注入することができる							
19	空になった注射器に微温湯を取り、フラッシュすることができる							
20								

注

評価に関しては○△×で

## 腸瘻からの注入・薬剤注入

No.	技術項目	評価						
		入職時	3カ月		6か月		1年	
		自己	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
1	必要物品が準備できる							
2	栄養食が汚染されないよう清潔に取り扱いができる							
3	患者に目的、方法が説明できる							
4	栄養食に微温湯（40℃以下）を加えることができる							
5	攪拌して均一に溶解することができる							
6	調整時、清潔な器具を用いることができる							
7	清潔な環境でできる							
8	湯ざましなど、微温湯を用いることができる							
9	栄養食を経腸栄養バッグに入れることができる							
10	頭部を30°以上挙上することができる							
11	蓋を開け、カテーテルを接続することができる							
12	クレンメをゆるめ、栄養食の滴下数を確認することができる							
13	投与量がすべて終了したら、栄養食のクレンメを止めることができる							
14	微温湯でカテーテル内の栄養食をフラッシュすることができる							
15	投与後の患者の状態を観察することができる							
16	瘻孔の状態を観察することができる							
17	使用物品を洗浄し、後片付けができる							
18	内服薬を溶かすことができる							
19	ディスポーザブルの注射器に吸い上げ注入することができる							
20	空になった注射器に微温湯を取り、フラッシュすることができる							

注

評価に関しては○△×で

# 経鼻栄養

No.	技術項目	評価						
		入職時	3カ月		6か月		1年	
		自己	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
1	手洗いをし、必要物品が準備できる							
2	患者に目的、方法、必要性が説明できる							
3	指示された注入食を38～40℃に温めることができる							
4	EDボトルを準備し、ローラークレンメを止めることができる							
5	EDボトルに注入食を入れ、輸液セット内に注入食を満たすことができる							
6	患者への声かけを行うことができる							
7	患者を坐位またはファーラー位などの体位に整えることができる							
8	胃チューブにシリンジを装着し、10～20mlの空気を注入し、気泡音が聴取できるか確認をすることができる							
9	チューブの管理ができる（長さや固定）							
10	経鼻チューブのキャップを外し、栄養点滴チューブを接続することができる							
11	指示通りに滴下速度を合わせることができる							
12	注入中の患者の状態を観察することができる							
13	注入終了後、カテーテル用シリンジで微温湯を注入できる							
14	クレンメを閉じ、胃チューブをロックできる							
15	注入終了後30分程度、坐位またはセミファーラー位とし、状態を観察する							
16	使用物品を洗浄し、後片付けができる							
17								
18								
19								
20								

注

評価に関しては○△×で

# 導尿

No.	技術項目	評価						
		入職時	3カ月		6か月		1年	
		自己	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
1	手洗いをし、必要物品が準備できる							
2	目的、方法、必要性の説明ができる							
3	カーテンを引くなどのプライバシーを守ることができる							
4	防水シートを敷き、汚染を防ぐことができる							
5	患者の姿勢を整え、下着（オムツ等）を外すことができる							
6	陰部を消毒することができる							
7	導尿カテーテルにキシロカインゼリーをつけることができる							
8	（男性の場合）陰茎を腹部に対し垂直になるよう保持し、陰茎をやや上方にひっぱり気味にしながらか15～20cm挿入することができる							
9	（女性の場合）挿入の目安は4～6cmで真っすぐに挿入することができる							
10	挿入後、排尿を確認することができる							
11	下腹部を軽く手で圧迫し、排尿を促すことができる							
12	カテーテルを抜去することができる							
13	物品を片付けることができる							
14	患者の衣類を整え、退室することができる							
15								
16								
17								
18								
19								
20								

注

評価に関しては○△×で

# バルンカテーテル留置

No.	技術項目	評価						
		入職時	3カ月		6か月		1年	
		自己	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
1	手洗いをし、必要物品が準備できる							
2	目的、方法、必要性の説明ができる							
3	カーテンを引くなどのプライバシーを守ることができる							
4	防水シートを敷き、汚染を防ぐことができる							
5	患者の姿勢を整え、下着（オムツ等）を外すことができる							
6	陰部を消毒することができる							
7	導尿カテーテルにキシロカインゼリーをつけることができる							
8	（男性の場合）陰茎を腹部に対し垂直になるよう保持し、陰茎をやや上方にひっぱり気味にしながらか15～20cm挿入することができる							
9	（女性の場合）挿入の目安は4～6cmで真っすぐに挿入することができる							
10	挿入後、排尿を確認することができる							
11	下腹部を軽く手で圧迫し、排尿を促すことができる							
12	注射用蒸留水を注射器に（10ml）注入しておく							
13	尿道留置カテーテウを固定できる							
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								

注

評価に関しては○△×で

# ネブライザー

No.	技術項目	評価						
		入職時	3か月		6か月		1年	
		自己	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
1	患者への説明ができる							
2	必要物品が準備できる							
3	指示された吸入剤と生理食塩水を薬剤指示書と照合しながら必要量を準備できる							
4	超音波ネブライザーを電源に接続することができる（電源スイッチをoffにしておく）							
5	薬液カップと薬液カップスタンドを取り外し、作用槽に水を入れることができる							
6	薬液カップスタンドと薬液カップを取り付けることができる							
7	補液用キャップをずらし、補液孔からシリンジに吸い上げた薬剤を注入することができる							
8	設定つまみで①霧化量②霧化期間③風量を設定することができる							
9	吸気ホースユニットにマウスピースをセットすることができる							
10	ベッドサイドで患者氏名、処方された薬剤名、投与方法を確認することができる							
11	患者に超音波ネブライザーの説明を行い、承諾を得ることができる							
12	施行時は椅子に座ってもらい坐位となるか、ベッド上でファーラー位保持することができる							
13	本体の電源スイッチをonにして霧化ボタンを押すことができる							
14	患者にマウスピースをくわえてもらい、深呼吸をしながら吸入してもらえよう伝えることができる							
15	機器の後片づけができる（薬液カップ、槽フタ、マウスピース、吸気ホースユニットを取り外し、ミルトン液に1時間つけ置き、自然乾燥させることができる）							
16								
17								
18								
19								
20								

注

# 血糖測定

No.	技術項目	評価						
		入職時	3カ月		6か月		1年	
		自己	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
1	患者への説明ができる							
2	必要物品が準備できる							
3	手洗いができる							
4	測定用チップを先端部につけることができる							
5	穿刺具（ランセット）に針をセットできる							
6	穿刺部位をアルコール綿で拭くことができる							
7	穿刺具を穿刺部位に当てて、プッシュボタンを押すことができる							
8	穿刺後、指先を軽く押して血液を出すことができる							
9	センサーの先端を血液に軽く押し当てて測定できる							
10	穿刺部位をアルコール綿で抑えることができる							
11	後片づけができる（チップを外すことができる リキャップしない）							
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								

注

評価に関しては○△×で

# モニター

No.	技術項目	評価						
		入職時	3カ月		6か月		1年	
		自己	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
1	必要物品が準備できる							
2	モニターの機械の準備							
3	送信機の準備							
4	患者にモニターパッチを正確に装着することができる							
5	パネルタッチの操作ができる							
6	アラームの設置ができる							
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								

注

評価に関しては○△×で